

全国の参考事例集

導入機能	取り組みの参考事例			頁
防災・地域 活力創出拠点	○災害伝承機能	リアス・アーク美術館	宮城県気仙沼市	2
		阪神・淡路大震災記念 「人と防災未来センター」	兵庫県神戸市	2
	○防災教育・防災学習	子供救命士育成プロジェクト	山形県村山市	3
		自主防災の活性化支援	大分県大分市ほか	3
		静岡県地震防災センター	静岡県静岡市	3
	○生涯学習機能	八戸ポータルミュージアムはっち	青森県八戸市	4
	○市民協働 (交流・情報発信) 機能	オガールプラザ	岩手県紫波町	4
	○災害時(避難者受入) 機能	津波避難ビル等の指定・整備事例	静岡県静岡市	5
地方公共団体の取り組み		高知県黒潮町	5	
○災害時防災活動拠点	長岡防災シビックコア地区	新潟県長岡市	5	
市庁舎 (本庁舎)	○防災(災害対策本部) 機能	甲府市新庁舎	山梨県甲府市	6
	○窓口機能	ワンストップサービス推進事業	北海道北見市	7
		まどかフロア	福岡県大野城市	7
	○議会機能	わかりやすい議会	東京都千代田区	8
		議場を一階に据えた市役所	新潟県長岡市	8
○複合化・多機能化	文京シビックセンター	東京都文京区	9	
保健センター	○健康まちづくり拠点	見附健康の駅	新潟県見附市	10
		るもい健康の駅	北海道留萌市	10
		とちぎ健康の森	栃木県宇都宮市	10
	○健康増進・保健指導	元気な福井の健康づくり応援計画	福井県高浜町ほか	11
○その他	三島市モバイルで健幸まち歩き事業	静岡県三島市	11	
共通事項	○地球環境・景観への配慮 (シンボル機能など)	アオーレ長岡	新潟県長岡市	12
		甲府市庁舎「ブドウ棚型太陽光パネル」	山梨県甲府市	12
	○中心市街地活性化機能	アオーレ長岡	新潟県長岡市	13
		図書館の市庁舎内への移転	北海道滝川市	13

■防災・地域活力創出拠点

○災害伝承機能

【リアス・アーク美術館】宮城県 気仙沼市



常設展示「東日本大震災の記録と津波の災害史」

- 宮城県が県土の均衡ある発展をはかるため、地域活性化対策事業として「広域圏活性化プロジェクト事業」を創設。2014年度より常設展「東日本大震災の記録と津波の災害史」を新設。
- 東日本大震災からこれまでに**学芸員らが取材した記録写真や収集した被災物を展示し、過去の津波災害の歴史をひもとき、その実態と影響などについて多角度から検証、考察**する。津波に関する知見を深め、津波災害と地域文化の関係、海とともに生きる地域の未来を考える場を目指す。
- 東日本大震災被災という重大な出来事を、地域の重要な歴史、文化的記憶として後世に伝えるとともに、日本国内、あるいは世界で行われている災害対策事業等への具体的な資料提供を行うことも、展示内容に含めている。

【阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」】兵庫県 神戸市



震災からの復興をたどるコーナー



震災を語り継ぐコーナー

- 「人と防災未来センター」では、**阪神・淡路大震災で起こったことや、子どもたちに伝えなければならないことを展示**。
- 国連をはじめ、いろいろな防災・減災に関係した組織が結集。世界の一大拠点を通じて、役に立つ新しい情報が発信されていくよう目指している。
- 「震災からの復興をたどるコーナー」では、**地震直後や復興過程の生活・まちの姿をメッセージとグラフィックで解説**。
- 「震災を語り継ぐコーナー」では、**ビデオでの震災体験紹介や、語り部が自らの体験を語る場**となっている。
- 「震災の記憶を残すコーナー」では、**震災関係資料を提供者の体験談とともに展示**。専用 Wi-Fi 接続にて、スマートフォン・タブレットで、震災資料の詳細を見ることが可能。

○防災学習・防災教育

【子供救命士育成プロジェクト】山形県 村山市



呼吸の確認をする子供たち
救急振興財団 HP より

- この事業は世界一の救命率のアメリカ・シアトルに習い、**小学生の時から「命の大切さ」「応急手当の必要性」を指導**することによって、**将来に役立てて市民の救命率の向上につなげよう**という目的で始まった。
- 消防本部の熱意により、議会や校長会につながり短期間で事業が実現。
- 開始当初の平成 22 年度では 69 人、翌年には約半年で 215 人の子供救命士を育成した。

【自主防災の活性化支援】大分県 大分市ほか



防災士のスキルアップ研修の様子

- 南海トラフ地震や豪雨災害などに備え、**各地域の自主防災活動を活性化させようと、大分県自主防災組織活性化支援センターを開設**した。
- 防災士の養成やスキルアップ研修を実施し、県内の防災士の人数は東京都に次ぐ全国第 2 位となっている。
- ホームページ内でも、防災参考資料の提供や、自助・耐震診断のアドバイス等を行っている。

【静岡県地震防災センター】静岡県 静岡市



地震体験コーナーの様子 市民防災ラボより

- 静岡県地震防災センターは、**災害に対する知識や技術の向上、防災意識の高揚を図る**ことを目的とした施設である。全国でも数少ない津波ドームシアターや、三次元的な動きを体感できる地震体験コーナーなど、**豊富な内容を体験でき、華もありながら实际的・教訓的に災害についての知識を学ぶことが可能**である。
- 家屋の耐震補強や、家具の固定具の実物を実際に見ることができ、防災用品コーナー等も含めて日常に活かせるような実践的な内容が充実している。

○生涯学習機能

【八戸ポータルミュージアムはっち】青森県 八戸市



食のスタジオ



こどもはっち

- 八戸ポータルミュージアム「はっち」は中心市街地と八戸市全体の活性化するため、2011年にオープン。「はっち」は施設であるとともに、「市民がまちを想い、まちを動かす」プロジェクトでもある。
- 八戸の見どころや魅力を、芸術作品をとおしてわかりやすく紹介し、ここからまちなかや観光地に誘う、玄関口としての展示も行っている。
- はっちが開館する前の2010年度と比べ、中心街の歩行者数が145%増(2013年度)になった。
- シアターやギャラリー、多目的スペースなど様々なスペースを設け、まちを元気にする活動をサポートしている。
- 地元の素晴らしい才能の再認識と、地元作家の起業支援などを目的とした「ものづくりスタジオ」がある。また、子育て支援機能を持ち、子どもと大人がゆったり過ごせる交流空間「こどもはっち」では、大人とこどもが一緒に遊べるよう、おもちゃが用意されている。

○市民協働（交流・情報発信）機能

【オガールプラザ】岩手県 紫波町



情報交流館



紫波町図書館

- 10の民間テナント（飲食・物販・医療・教育系）と、紫波町が運営する情報交流館（図書館・地域交流センター）で構成される『官民複合施設』として、平成24年に「オガールプラザ」は完成。
- 夜の時間帯にも施設を活用するイベントが催しされている。
 - ・図書館：飲みもの持ち込み、おしゃべり自由の「夜のとしょかん」
 - ・情報交流館：仕事、学校帰りにメイクしたままで参加OKの「ナイトエステフェア」
- 事業成立のポイントは、「テナントが100%決定した上で工事に着手したこと」にある。開発構想時点から、民間向けの企業立地研修会を立ち上げ、開発計画を広くアナウンスし、出店するテナントの賃料や必要床面積を積み上げ、民間企業が必要とする床面積のみを建設する手順を踏んだ。

○災害時（避難者受入）機能

【津波避難ビル等の指定・整備事例】静岡県 静岡市



津波避難ビルとして指定された静岡市役所
清水総合事務所（旧清水市役所）

- 昭和58年の日本海中部地震で津波の犠牲者が多かったことをきっかけに、**津波避難ビルを指定**した。
- 鉄筋コンクリートまたは鉄骨鉄筋コンクリート造など、**十分に耐震性、耐浪性を有すること**といった条件を元に市内に53箇所が指定されている。

【地方公共団体の取り組み】高知県 黒潮町



太陽光を利用した照明



地上から屋上へ行くことのできる施設（図書館）

- 内閣府が南海トラフの巨大地震モデルをシミュレーションしたところ、黒潮町は最大津波高が全国最大となった。町は以前から避難所の整備、訓練を行い、津波避難に対する課題と対策を抽出し取りまとめている。
- 平常時は**避難場所・避難方向に関する多様な情報提供、夜間や停電時の対応として太陽光発電を利用した照明等の設置**を行っている。
- 緊急時のために**高台への避難路は整備し、また屋上から津波タワーへの避難が容易な施設を設けるなど、町内に多くの工夫**がされている。

○災害時防災活動拠点

【長岡防災シビックコア地区】新潟県 長岡市



シビックコア地区の外観

- 長岡防災シビックコア地区は、「長岡地域の防災性の向上と快適な都市生活を支える広域拠点の形成」を目的として整備された。
- 日常的にはイベントや遊びの空間として、誰もが利用できるオープンスペースとしての使用**を想定している。
- 市民の安全・安心を支える緑の防災拠点として、**埋設型の飲用を兼ねた防火水槽や、緊急ヘリポート機能が備わっており、救援物資の輸送拠点として機能**する。また付近には地方合同庁舎が存在する。
- 消防本部庁舎が隣接しており、**災害時の防災活動を効率的に進められるような工夫**を行っている。

■市庁舎（本庁舎）

○防災（災害対策本部）機能

【甲府市新庁舎】山梨県 甲府市

- 建物本体に伝わる地震エネルギーを軽減する免震構造を採用し、地震による被害を最小限に抑え、**災害時の防災拠点として速やかに始動できるよう建設。**
- **来庁舎用駐車場は災害時に防災拠点として機能。**屋根つきのため雨にも濡れず、救援物資の一時保管や災害掲示板の設置、帰宅困難者の一時避難やボランティアの活動拠点などとして活用する。
- 屋上には自家発電機を設置しており、**停電時に緊急措置として重要な箇所に72時間電力を供給**することが可能。
- 1階に防災情報コーナーを設置。コーナーには大型タブレットモニターを設置し、ハザードマップをはじめとする防災情報を公開。また、**災害発生時には、災害対策本部からの情報発信**を行っていく。
- 敷地南側に断水時でも飲料水を確保できるよう、緊急遮断弁を備えた非常用貯水槽を設置。
- システムサーバのダウン時に備えて、**小田原市とシステムの相互バックアップ**を行っている。万一、大規模災害で被災し、システムサーバが停止した場合には、他方の市のサーバでの稼働を行う。



甲府市庁舎に設置されたマンホールトイレ



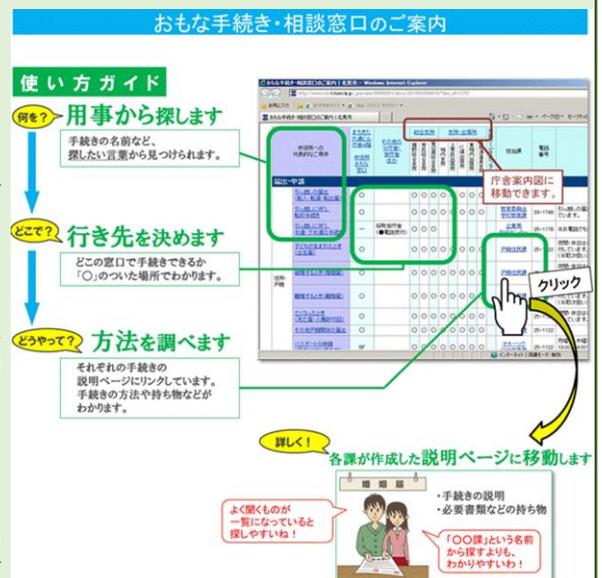
庁舎1階 防災コーナー

甲府市 HP
甲府市防災情報 WEB より

○窓口機能

【ワンストップサービス推進事業】北海道北見市

- 北見市では、平成 25 年度から「ワンストップサービス推進事業」を開始した。取り組み内容は以下の 3 つである。
 - ・システムを活用したワンストップサービス「(仮称) 窓口支援システム」の構築
 - ・システムの導入に合わせて、業務フロー(受付処理の流れ)を改善する
 - ・手続きの見直し・簡略化・添付書類省略化による、市民の負担と職員の事務処理軽減
- 市民からは「**手続きにかかる負担や不安感の減少**」、職員からは、「**仕事を進めやすい仕組み**」(効率的な事務処理)、「**総業務量の減少化による、人件費・時間外経費削減**」の効果が見られている。
- 市役所に行く用件(目的)に応じて、関連する用件がまとめて受付できるよう、**ICTを活用したワンストップサービスの実施も推進**している。現在、市のHP上には「目的から探せる、市役所窓口のご案内」という用件から行き先の窓口や手続き方法が探せる一覧表が掲載されている。



市のHPより
目的から探せる、市役所窓口のご案内

ワンストップサービス推進事業より

【まどかフロア】福岡県 大野城市

- 「まどかフロア」は、**企業との官民連携・協働によるワンストップサービスを実現**した。まどかフロアは下記の 3 つに分けてある。
 - ・総合案内センター：**フロアマネージャー(受託事業者)を配置**
 - ・証明コーナー：戸籍証明や住民票など **25 業務を一括して受託事業者が取扱い**
 - ・異動受付コーナー：**ライフイベントに係る届出、印鑑登録、外国人登録などを一括取扱い**
- 総合案内センターは、すぐ目に入るようサインを取付け、異動受付コーナーは市民から不評だったハイカウンターを全てローカウンターに変更し間仕切りを設置した。
- 「窓口サービス顧客満足度調査結果《お客様の満足度》」(平成 18-20 年度結果抜粋)によると、「処理時間、申請書類等の手続き関係」については、満足度が 18 年度(58.0%)から 20 年度(70.0%)と約 1.2 倍になり、「施設案内、設備関係」では 18 年(51.7%)から 20 年度(73.7%)と約 1.4 倍に向上している。



総合受付



異動受付コーナー

市のHPより

○議会機能

【わかりやすい議会】東京都 千代田区

- 千代田区議会は議会改革を積極的に推進してきたことで知られ、2007年に竣工した新議場でも「開かれた議会」を目指す配慮がなされている。
- 対面式のレイアウトと、**顔の見える傍聴席が特徴的**である。
- マイクロホン等のユニットはワイヤレスとなっている。また必要であれば机もキャスターを降ろして移動することができるようになっており、**机を収納することにより室内を広く利用することができ、多目的な使用が可能**となっている。
- 「電子投票システム」により、傍聴者や議員に会議の内容や状況がわかりやすい議会環境を実現**した。また、議場においては議員や執行部側の発言を明瞭に聞くことができ、議員の出欠や賛否の状況が一目でわかるようになった。委員会室においては、配線の不要な会議システムの採用で、会議の内容によって生じるレイアウト変更にも柔軟に対応することが可能である。



斬新な対面式レイアウトの議場



多目的広場としての利用

府中市 HP

「府中市庁舎建設基本計画市民検討協議会」より

【議場を一階に据えた市役所】新潟県 長岡市

- 市内に存在するシティホール「アオーレ長岡」は、基本的に庁舎内の中高層部に存在する議場をあえて一階に設置している。
- より身近な議場を目指し、**ガラス張りの議場の一部が外から見える**ようになっている。
- 議場は円形すり鉢状に質問席を配置した対話型である。傍聴席は一般用と、**子供でも膨張が可能な防音処理を施した親子席を設置**している。



外部から中を見ることができる議場

アオーレ長岡 HP より

○複合化・多機能化

【文京シビックセンター】東京都 文京区



文京シビックセンター 議場



文京シビックセンター 大ホール

- シビックセンターは、大・小ホールをはじめとした様々な区民施設、公共機関、区庁舎で構成され、**交流の場、区の文化や魅力を発信する場、区民サービスを提供する拠点**としての機能を有する、超高層の複合施設である。
- 大地震や風水害などの災害発生時には、**災害対策活動を的確・迅速に対応するための文京区の防災拠点**としての機能も有している。
- 地下鉄との連絡口があり、駅との行き来が容易にできるようになっている。
- 低階層には、総合窓口をはじめ、シビックホールや、戸籍住民課を配置し、利用する頻度の高い機能を集約している。

■保健センター

○健康まちづくり拠点

【見附市健康の駅】新潟県 見附市



エアロバイク・ジョーバによる運動体験
見附市 HP「健康の駅」より

- 健康の駅では、**市民の健康増進を目指し、健康・医療・福祉・介護の情報提供や健康相談**を行っている。
- 健康の駅では安価、もしくは無料で各種健康体験を行うことができる。
- 健康体験の一例
 - ・物忘れ相談プログラム
 - ・骨密度簡易測定検査
 - ・BC チェッカー（末梢血管循環測定）
 - ・運動体験（月額制）等

【るもい健康の駅】北海道 留萌市



学生によるメディカルカフェ
（るもい健康の駅の取り組みについてより）

- るもい健康の駅では**各種健康施設があり、施設内の運動教室や健康測定は利用数が多い**。
- るもいコホートピア構想というものがあり、医学の価値を住民と共有しながら理想的な街づくりを目指している。
- 住民に価値のある医学研究のオープンフィールドを樹立。実際に札幌医科大学によるメディカルカフェが開催された

【とちぎ健康の森】栃木県 宇都宮市



シルバー大学校内の講演
（とちぎ健康の森より）

- 健康であり生きがいを持った生活や、障害者の方が積極的に参加できる社会のニーズに応えた施設**を開設。
- 健康づくりセンター等4つの施設が複合しており、「とちぎ生きがいづくりセンター」では**高齢者の人生を豊かにするための情報提供や、シルバー大学校による高齢者の学習・研修の機会**を設けている。
- シルバー大学校では30～50コマ/年（1コマ2時間程度）の自然体験活動・介護予防等のカリキュラムを2年間こなし、卒業後は地域活動への積極的な参加等の活躍が見込まれている。在学中はクラブ活動に参加でき、文化会館での展示会やスポーツによる交流など、自身の成果を切磋琢磨する機会が与えられている。

○健康増進・保健指導

【元気な福井の健康づくり応援計画】福井県 高浜町ほか



高浜町健康チャレンジ期間の様子
(第3次元気な福井の健康づくり応援計画より)

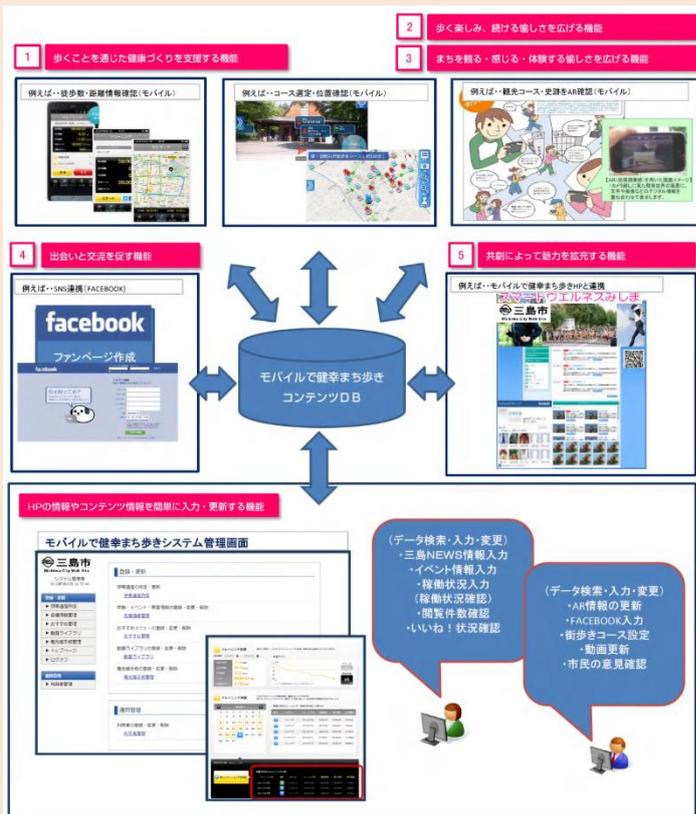


町民の健康づくりの実践(同上)

- 福井県は、平成24年度から「わがまち健康づくり推進プロジェクト」(地域健康度診断システム)を開始し、**市町ごとに健康度分析を行い、健康課題の分析と健康づくり対策の立案・評価を実施**している。
- 2008年から2010年の3年間に市町の国民健康保険が実施する特定健診を受診した約6.5万人を対象に、**個人毎に接続した特定健診の結果(28項目)と医療費レセプトデータでデータベースを構築**した。
- 福井県高浜町ではデータベースをもとに地区診断を行い、健康づくりの方向性を絞り「野菜の摂取量を増やす」ことを重点対策とした。
- 福井県美浜町では、**データからみる町の健康課題を行政と住民が共有し、生活習慣病予防の必要性を理解して、食生活を中心とした生活習慣の改善に取り組む運動**が始まっている。

○その他取り組み

【三島市モバイルで健幸まち歩き事業】静岡県 三島市



- ウォーキングを通じた健康増進効果や散策の楽しさの普及を通じて**市民のQOLを高めながら、「まち歩きを楽しむまち」としての三島市の固有の魅力=ブランド価値を育む**。
- モバイルのスマートフォンを中心にタブレットでも利用可能な三島市独自のアプリケーションを作成する。
- 幅広い市民や来訪者のまち歩きへの参加、継続の促進として、**まち歩きを楽しむコミュニティのプラットフォームとした活用**を見込む。
- コンテンツはデータベース化し、端末に依存せず、利用やストックができるように設計する。
- まち歩きのイベント情報やニュースなどの情報発信を簡単にできる仕組み**を利用し、利用者も巻き込みながら、街の活性化になる催事や観光情報、店舗情報などを発信する。

端末やSNS、HP等の連携イメージ
(平成25年度三島市モバイルで健幸まち歩き事業より)

○地球環境・景観への配慮（シンボル機能など）

【アオーレ長岡】新潟県 長岡市

- 下記のような取り組みで、**一般家庭 220 世帯が 1 年間に排出する CO₂ (約 1,050 トン) を削減**することを目的としている。
 - ・ 太陽光…屋根に可動式の太陽光発電パネルを設置。屋根の開閉で発電 (10kW) と換気
 - ・ 雨水・融雪水…雨水をトイレ洗浄や大屋根清掃、融雪に利用。融雪水は繰り返し使用
 - ・ 屋上緑化…地球温暖化の防止と環境意識の向上
 - ・ 天然ガス…長岡産の天然ガスで熱と電気を作り、施設内に供給
- 国の「省 CO₂ 推進モデル事業」に全国の自治体として初めて認定され、環境面からも全国の注目を集めている。



▲省 CO₂ 情報がひと目で分かる機器「IDO」。タッチパネルで操作は楽々。西棟 1 階ホワイエに設置

長岡市 HP より

【甲府市庁舎「ブドウ棚型太陽光パネル」】山梨県 甲府市

- 日射量の多い甲府市の特性を活かし、屋上・腰壁・「ブドウ棚」に設置する太陽光パネルで発電する。
- 発電量は市庁舎では日本最大級の 300kw を目指しており、甲府の美しい風景のシンボル、そして**地域の代表的生産品であるブドウの棚をイメージさせる太陽光発電パネルで、建物や広場を覆う。**
- クリーンエネルギーを生み出す『ブドウ棚』の下の 1 階には、街とつながる外部空間『ブドウ棚アーケード』と『ブドウ棚市民広場』、市民に開放した内部空間『市民プラザ』を設ける。
- 甲府市の豊かな資源である**地中熱を熱源として利用し、熱交換により得られた冷水・温水を 1 階の床冷暖房に活用し、市民が快適に過ごせる室内環境をつくる。**



甲府市庁舎



庁舎 太陽光パネル

甲府市 HP

甲府市新庁舎建設 基本設計 概要より

○中心市街地活性化機能

【アオーレ長岡】新潟県 長岡市

- 中心市街地の空洞化への問題を踏まえ、市民協働型シティホールとして、「公会堂（アリーナ）」、「屋根付き広場」、「市役所本庁舎」の3つの施設を一体的に整備。
- 市民・議員・職員が垣根を越えて日常的に交流できる「市民との協働の場」と、あらゆる世代の人々の様々な活動に利用できる「ハレの場」創出を目的としている。
- 明るい雰囲気ロビーや喫茶コーナー、映像作品の公開の場として活用できるシアター施設など、交流の場を設けている。
- このアイデアが高い評価を得て、平成19年6月にまち交大賞の最高賞「国土交通大臣賞」に選ばれた。また、大屋根の下の広場「ナカドマ」に面して市庁舎機能を配置し、まちなかの賑わい創出に大きな役割を果たしていることが高く評価され、第55回BCS賞を受賞した。



シティホールプラザ
アオーレ長岡



福祉のカフェ りらん



シアター施設

長岡市 HPより

【図書館の市庁舎内への移転】北海道 滝川市

- 市庁舎の余裕スペースの有効活用も含め、都市機能の集積化、中心市街地の活性化を目的に、平成23年11月に老朽化した郊外の旧図書館を市庁舎内へ移転した。
- 図書館は、「郊外から中心市街地への移転による利便性の向上」や「積極的なソフト事業の展開」により、リピータが大幅に増加し、平成22年度から平成23年度の利用者数目標値65,000人を超え、平成24年時点では、来館者が移転前の2.5倍となった。
- この事業は歩行者・自転車通量の増加に寄与しており、「子ども読書活動優秀実践図書館」に選ばれ文部科学大臣表彰を受けるなど、その取組においても非常に高い評価を得ている。
- 図書館を中心市街地にある庁舎に設置したことにより、相互の行き交いだけでなく、まちなかへの回遊性が得られた。



滝川市庁舎



図書館：読書週間事業 展示「絵本作家はたこうしろうがやってくる！」

滝川市 HPより